

# 平成24年度予算編成方針のポイント

## 1 日本経済の状況及び国の動向

- (1) 景気 東日本大震災から半年を経て回復の兆しあるも、依然として先行き不透明
- (2) 国の動向 「震災復興」・「財政・社会保障の持続可能性確保」に向けた取組

## 2 さいたま市の財政状況及び今後の財政見通し

- (1) 財政状況
  - ・東日本大震災の影響等により、市税収入は大幅減収の見込み(47億円)
  - ・社会保障費など義務的経費が増加
- (2) 財政見通し
  - 平成24年度～平成27年度 約1,039億円の財源不足
  - 平成24年度 約245億円の財源不足(前年度策定時171億円から拡大)

## 3 予算編成の基本方針

平成24年度予算編成は、「**更なるしあわせを実感できるまちの実現に向けた予算**」

<特徴>

- (1) しあわせ増進プラン(最終年度)等3プランの総仕上げ
- (2) 東日本大震災を契機とした防災対策等の強化
- (3) 徹底した現場主義に基づくマネジメントの強化

## 基本方針の具体的内容

- (1) 行財政改革 ～行財政改革の総仕上げの年～
  - 局長マネジメント予算編成の推進
    - ・各局の創意工夫を更に高め、改革を各所管局が主体的かつ責任をもって実行
    - ・前年度一般財源に対し5%シーリング\*を実施(義務的・臨時的経費を除く)
  - 行財政改革推進枠
    - ・「行財政改革推進プラン2010」の着実な実行
- (2) しあわせを実感できる事業の重点化
  - 「しあわせ増進プラン2009」の達成
  - 「総合振興計画新実施計画」事業の推進
  - 重点分野
    - 「防災、環境・エネルギー対策」
    - 「高齢者支援」
    - 「子育て支援」市民生活の安全・安心基盤の強化
  - \* スクラップアンドビルドの原則 既存事業の見直しにより財源を捻出
- (3) 市民の声・現場の声を反映した「市民生活重視」の予算編成
  - 市民・事業者との協働を強化し、「市民力」を結集した施策展開
  - タウンミーティング・わたしの提案などの政策への反映
- (4) 普通建設事業費の抑制 臨時的な建設事業を徹底精査
- (5) 歳入の的確な確保及び新たな財源の創出
- (6) 国の動向の的確な把握と対応 当面は現行制度で予算編成